

2022 年度
能力強化研修

学びの改善アプローチ

2022 年 10 月 25 日(火) ~ 10 月 28 日(金)

募集要項



※当研修は対面で実施予定です。

独立行政法人 国際協力機構
人事部 開発協力人材室

はじめに

1990年以降の国際社会による教育改善への継続的取組の結果、就学率は大きく改善しましたが、世界では、アフリカ、南アジア等の貧困層や女子等を中心に、依然として2.63億人が不就学の状態にあります。また、学校に通っていても、十分な質の教育を享受できず、結果として基礎的読解力・計算力を習得できていない子どもや若者が6.1億人存在し、「学習の危機」と呼ばれる状況が生じており、教育の質の改善も大きな課題となっています。

教育の改善には、教育行政・政策・予算、カリキュラム、教材、教員、学校施設・設備、地域社会や親の関わり等々多くの要因が関連しています。これらの多くの課題のうち、JICAは、日本の強みを活かした次の4つの協力①教科書・教材開発を中心とした学びの改善クラスター②コミュニティ協働型教育改善クラスター③誰ひとり取り残さない教育改善クラスター④拠点大学強化クラスターに重点的に取り組み、他課題については、他の開発パートナーとの連携等を通じ、総合的な成果の発現を目指しています。

基礎教育に関しては、「子どもの学びの改善」のため、子どもが読み書きや計算といった基礎的な学力を習得するのみならず、自ら学び考える力を身につけ、学習意欲を高めていくことを目指し、カリキュラム、教科書・学習教材、授業、学力評価(アセスメント)の一貫性に留意した「学びのサイクル」を強化した支援を実施しています。また、この「学びのサイクル」を支えるため、教育政策策定・制度改善、学校運営改善等の支援を行い、総合的な問題解決を図る「学びの改善アプローチ」が重要となっています。

本研修は、JICAの協力プロジェクトをはじめとする国際協力の現場に興味を持ち、今後、教育分野の活動に関わりたいと考えている方や、既に途上国の開発事業等に携わっており、さらに教育協力分野の知見も深めたいと考えている方を対象にしています。

具体的な事例紹介を織り交ぜながら、当該分野の業務を行うために必要な基礎的な知識を深めていただきたいと思います。本研修の受講を通じて、より多くの方が教育協力分野のJICA事業や国際協力に参加されることを期待しています。

1. 研修コース名研修期間、募集人数

- (1) 研修コース名 : 学びの改善アプローチ
- (2) 研修期間 : 2022年10月25日(火) ~ 10月28日(金)
- (3) 募集人数 : 20名程度

2. 応募要件

下記の全ての要件を満たす者とします。

- ・将来、専門家等として JICA 事業に携わる意志があること
- ・全日程参加可能であること
- ・原則として、教育分野の国際協力(専門家・コンサルタント・JICA 海外協力隊・NGO・国際機関等)において2年以上の実務経験またはそれに相当する研究実績(大学院等)を有する方。
- ・研修内で活動事例として他の参加者に紹介できる具体的な基礎教育分野での実務経験や研究実績を有することが望ましい。

3. 研修会場

本研修は対面で実施します。

JICA 研究所(最寄り駅 JR 市ヶ谷) セミナールーム(予定)

※新型コロナウイルス感染状況によっては、オンライン(ZOOM 使用予定)で実施します。

4. 研修概要

(1) 目的:自身の国際協力経験を基に、現在 JICA が取り組んでいる教育協力の概要を理解することを通して、国際協力人材としての素地を養う。

具体的には下記の通り

- ・JICA の教育協力概要を理解する。
- ・上記に関し、代表的な「持続的学びの改善メカニズム」と「住民参加による学びの改善メカニズム」概要を理解する。

- ・上記以外の JICA 教育協力分野の概要を理解する。
- ・今後、国際教育協力人材として歩むための具体的方向性のイメージを持つ。

(2) 日程案(概要)

10/25 (火)	【講義および演習】 ・JICA の教育協力概要 ・子どもの学習心理 ・教師のワークモチベーション ・TIMSS ビデオスタディーを通じた学びの改善のための貢献要因
10/26 (水)	【講義および演習】 ・ 継続的学びの改善メカニズム① ・ 住民参加による学びの改善メカニズム① 【JICA 教育協力分野概要①】 ・ 教育分野における DX
10/27 (木)	【講義および演習】 ・継続的学びの改善メカニズム② ・住民参加による学びの改善メカニズム② 【JICA 教育協力分野概要②】 ・インクルーシブ/ジェンダー
10/28 (金)	【講義および演習】 ・JICA 教育協力の学びの効果を測るためのインパクト評価 【JICA 教育協力分野概要③】 ・就学前教育(ECD)/非認知能力/多文化共生 【キャリアパス事例共有】 ・若手編・エキスパート編

※本日程案は、暫定版につき、内容や順番に変更の可能性があります。

※全日程 9:30－17:30 で実施を予定しております。

5. 事前課題

事前課題として、動画教材をご視聴いただきます。対象資料は合格通知後にご連絡いたします。

6. 応募方法

以下の(2)に記載されている応募書類を揃え、締切日までに JICA の運営している国際協力キャリア総合情報サイト「PARTNER」(以下「PARTNER」という。)から応募してください。応募書類受付後、応募時に PARTNER で指定した本人連絡用の E メールアドレスに対し、受領通知メールと共に応募案件番号(受付番号)を通知します。応募後、3 営業日以内に受領通知が届かない場合は、下記「国際協力人材登録に関するお問い合わせ先」までご連絡ください。

【国際協力人材登録に関する問い合わせ先】

独立行政法人国際協力機構 PARTNER 事務局

以下URL、PARTNERホームページの「お問い合わせ」からお願いします。

<https://jicaps.secure.force.com/inquiryedit>

(1) 「PARTNER」への登録

応募はすべて「PARTNER」経由で行います。応募にあたっては「PARTNER」に国際協力人材登録(簡易登録不可)がなされていることが必須ですので、登録されていない方はまず「PARTNER」での人材登録を行ってください。

※新規登録手続きには、3 営業日程度を要しますので、お早めに登録ください。

「PARTNER」の URL <http://partner.jica.go.jp/>

【PARTNER 登録の注意事項】

入力フォーム4ページ目「プロフィールの公開」欄で「希望する」を選択し、公開先には必ず「JICA」を選択してください。

(2) 応募書類

すべて所定の様式をご使用ください。所定の様式は、JICA ホームページ (<http://www.jica.go.jp/recruit/kyokakenshu/top.html>) からダウンロードしてください。①の履歴書についてのみ、PARTNER から書式をダウンロードして作成してください。

① 履歴書

応募に必要な「研修用履歴書」を PARTNER 上で作成して提出してください(履歴書への写真添付は不要です)。一般履歴書など他の様式の履歴書は受け付けません。履歴書は、PARTNER ログイン後、マイページのメニューから作成できます。ファイル

名は「氏名_1履歴書」としてください。

② 推薦書(書式不問)

所属先のある方は、必ず所属先の研修参加の了承を得てください。なお、推薦書は書式不問です。推薦書が用意できない場合は、その理由を記載してください。自営の方や所属先のない方は不要です。所属先において応募者ご本人が代表を勤めている方も必要ありません。ファイル名は「氏名_2推薦書」としてください。

③ 自己申告書

必ず所定の様式を使用して提出してください。なお、合理的な配慮が必要な方は自己申告書の該当項目(6項目目)に必ず記載をお願いいたします。ファイル名は「氏名_3自己申告書」としてください。

④ 取り組みシート(指定フォーマット有)

今まで自身が経験した国際教育協力の取り組みをふりかえりながら研修を進めていきます。自身の取り組みについて、指定のフォームに次の事項を記載ください。

ア) 活動概要(目的と手法含む)

イ) 成果(目的達成度含む)

ウ) 残された課題

エ) 教訓(自身が学んだこと)

※最終裨益者(子供等の学習者)に対する成果・課題を中心に記載いただくと、研修を通して自身の活動の振り返りに役立つと思います。

(3) 応募

応募期間内に「PARTNER」の応募画面から応募してください(予め応募書類をご準備ください)。

- ① 以下の URL から「PARTNER」にアクセスし、画面右上の“ログイン”をクリックして PARTNER にログインします。

(「PARTNER」の URL <http://partner.jica.go.jp/>)

- ② 「研修セミナー情報」画面から該当のセミナー情報を検索し、「この案件に応募する」をクリックしてください。
- ③ 上記(2)の応募書類を添付してください。

7. 応募締め切り

締切日：2022年9月16日(金)

8. 選考結果の発表

応募書類を審査の上、2022年10月7日(金)を目途に、下記の PARTNER のマイページ上で合格者の応募案件番号(受付番号)を発表します。PARTNER にログインし、マイページの「PARTNER からのお知らせ」をご確認ください。書面による通知及び JICA ホームページ上では発表しません。

ご自身の応募案件番号(受付番号)は受領通知メール、又はマイページ「メールボックス」の「受信 BOX」で「【PARTNER】研修・セミナーへの応募送信完了のお知らせ」を参照ください。

なお、選考結果に関する個別のお問い合わせには一切お答え出来ませんので、あらかじめご了承ください。

「PARTNER」の URL <http://partner.jica.go.jp/>

9. 参加費用

無料

10. 修了証の発給

全日程を修了された受講者へ、研修修了証書をお渡します。

11. 留意事項

- (1) 研修期間中の盗難、紛失、事故等については、JICA は一切責任を負いません。予めご了承ください。
- (2) 研修実施に影響を及ぼすため、合格後の辞退は出来るだけご遠慮ください。
- (3) 円滑な研修運営に支障を来す恐れがあり、受講者本人や他の受講者の不利益になると JICA が判断した場合は、その後の研修参加をお断りする場合があります。
- (4) 研修修了一定期間の後、研修後の国際協力事業へのかかわり等に関するフォローアップ調査をアンケート形式で実施しますので、回答にご協力願います。
- (5) 受講のために必要な経費は自己負担となります。
- (6) オンライン受講に必要となる端末や、安定したインターネット環境(Wi-Fi 等)等は、受講者でご準備ください。

以上

様式 1 推薦書(書式不問)

様式 2 自己申告書

様式 3 取り組みシート

—ご提出頂く応募書類の取り扱いについて—

提出書類は、選考の結果にかかわらず返却しませんので、あらかじめご了承ください。

【個人情報の利用目的】

当機構が収集した応募者の個人情報は、以下の目的で利用させていただきます。当機構は、ご本人の同意を得ないで、この利用目的の達成に必要な範囲を超えて応募者の個人情報を利用いたしません。

1. 当機構が能力強化研修の受講者の選考を行うため
2. 当機構の研修実施にかかわる、各種情報(セミナー・イベントやホームページの案内等)や、人材募集情報の提供や連絡等を行うため
3. 応募者についての統計、データ分析を行うため
4. 研修の修了後、研修修了者へ能力強化研修の成果の活用状況について照会し、この結果を統計データとしてまとめ、将来的な研修カリキュラム改善に活かすため

【個人情報の取扱いについて】

当機構は収集した個人情報を当機構の責任のもとで適切に管理し、研修の受講に至らなかった場合は、当機構の責任のもとで適切に廃棄致します。この場合、書類の返却は致しておりませんのでご了承ください。

【応募に関する問い合わせ先】

独立行政法人国際協力機構 人事部 開発協力人材室(研修管理室)
〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町 10-5 JICA 市ヶ谷ビル
TEL: 03-3269-3471 E-mail: hrgtc@jica.go.jp